

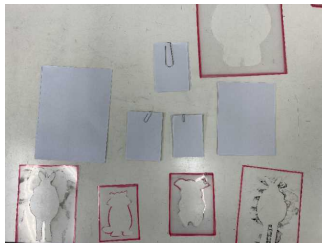
教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
<p>どうぶつドミノ ～12種の大きさ比べ～</p>	小	<p>グループ学習 高学年ビーバー (算数・図工)</p>	

<ねらい>

大きさの違いを意識して(順に並べる。or 選んで置く。)

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- 木の板(12種の大きさ)、動物のステんシルシート(12種)、転写用紙(12種の大きさ)等を用意した。
- 授業(図工)で、児童の活動(ドミノ作り)としてドミノを作成した。作業内容は(1, 同じ大きさのステんシルシートと転写用紙をクリップで止める。2, ステんシルで模様をつける。3, 同じ大きさの板と用紙を組み合わせる。)



- 授業(算数)では、児童の実態に応じて、以下のような活動を設定した。
 - 大小比較が得意な児童→最大12枚を適当に置き、一人で縦長のシート上に小さいドミノから順に並べる。
 - 大小比較が確実でない児童→2, 3枚ずつ提示された中から、教師の言葉「小さいのはどっち?」を聞いて小さいドミノから並べる。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- 児童の実態に合わせて、いろいろな使い方ができた。(絵のみをカードとして外してホワイトボード上で使ったり、絵を外して無地の板のみを使った大きさ比べとして使ったりできた)



<その他(材料、費用、購入先等)>

- 廃材、ラミネート、その他絵の具等